



発行：土浦市教育委員会 生涯学習課（ウララ2ビル7階）

TEL 826-1111(内線 5161) Mail syougaigakusyuu@city.tsuchiura.lg.jp

土浦市では、市立の小学校・義務教育学校前期課程の保護者の皆様が各学校に家庭教育学級を組織し、子育てをする親同士で、望ましい家庭教育のあり方について学びながら、仲間としてのつながりを深めています。本号では、令和5年度に実践された家庭教育学級の活動の一部を紹介します。

また、保護者が率先してきまりを守ることの大切さ、ネット・スマホ活用時代の子育てのポイントについて、情報を掲載しました。お子様の育ちを支えていくために、一緒に考えていきましょう。

家庭教育学級の活動紹介

家庭教育は、すべての教育の出発点です。家族のふれあいを通して、子どもが基本的生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりの心や基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーを身につけていく上で、重要な役割を果たしています。この家庭教育について保護者同士で学ぶ合うため、令和5年度も各小学校単位で充実した取組が行われました。家庭教育学級の運営にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

ここで、令和5年度の取組の一部を紹介します。



◇子どもを取り巻くメディアの危険と上手な付き合い方

茨城県メディア教育指導員・谷川原 奈都子 先生

「低学年のうちから、インターネットとの上手な付き合い方について学ぶ必要があると考えてテーマを設定しました。子ども向けの話がとても分かりやすく、保護者向けの話は考えることの多い時間となりました。」

◇食育と朝ごはん・学校給食について

土浦市立学校・栄養教諭

「新しい給食センターの様子が分かり、減塩の工夫などを知ることができたことで学校給食のありがたみを再認識しました。朝食と学力の関係などの興味深い話を聞いたので、今後に生かしたいです。」

◇親と子のダンス教室

K2☆Dance・小木 香織 先生

「ダンスを通して、親子の絆を深めるとともに、親子で運動する楽しさを知ることができました。また、友だちと協力する我が子の姿を見られたことで、子の成長を実感できました。」

◇親子で話そう 性のこと

いはらき思春期保健協会・津吹 哲男 先生

「『親から子へ性の話をどうすればよいか分からない』という保護者の悩みが多いと聞き、講話をお願いしました。家庭で今日からできる取り組みを分かりやすく教えていただき、これから思春期を迎える子の親として、多くの学びがありました。」

◇明るい社会を目指して～いろいろな人権課題を通して～

土浦市いきいき出前講座・市生涯学習課職員

「無意識に差別的なものの見方などをしているかも。と、自問自答しながら講座を受けました。日々、変化している環境の中で自分の価値観や考えも柔軟に臨機応変に対応していけるよう努力していこうと思いました。」

特集1 きまりを守る心を大切にしましょう！

きまりを守る心は、一人一人が社会の中で気持ちよく生活したり、互いに協力し合って生活したりするのに必要です。また、よりよい社会を築いていくためには、きまりの意味を考えたり、きまりを作ったりする経験も大切です。子どもは、親から認められたり、ほめられたり、時にはしかられて行動を正されたりしながら、きまりの大切さを身につけていきます。

こんなことから始めましょう！

◇できることから、親子で一緒に取り組みましょう。

- ・横断歩道は信号が青になってから左右を確認して渡る。
(車の運転時などに、保護者が交通ルールやマナーを守る姿を見せましょう。)
- ・ごみはごみ箱に捨てる。または家まで持ち帰る。
- ・動物や植物を大切にする。

◇親子で家庭のルールを話し合って決めて、一緒に守る経験を積みましょう。

◇子が決まりを守れなかったときには、理由やこれから気をつけることを話し合いましょう。

茨城県教育委員会「子育てアドバイスブック クローバー」p14 より

特集2 ネット・スマホ活用時代の子育て

現代の子どもたちは生まれたときから携帯電話やスマートフォンが身近にある生活をしており、初めて持たせても器用にすぐに情報機器を使いこなします。しかし、子どもは判断力が足りず、社会経験も不足しているため、トラブルに巻き込まれてしまう危険が高いことを忘れてはいけません。せがまれるままに機器を買い与える前に、便利さと危険について、親子で一緒に考えてみるのが大切です。賢く情報機器を使いこなす力を育てましょう。

□ネットやゲームに熱中しすぎて生活リズムがくずれていませんか？

- ⇒・使用時間のルールを作りましょう。
- ・ゲーム機やスマホのペアレンタルコントロールを上手に活用しましょう。
- ### **□ゲームへの依存度が高まらないように、保護者がコントロールしていますか？**
- ⇒・低年齢でゲームを始めるほど、中高生になったときの依存度に影響が出る可能性があります。
- ・与えるゲームの内容や使用時間は、子どもと話し合いながら、保護者が判断し、コントロールすることが大切です。

□子どもが遊ぶゲームや動画の内容を把握していますか？

- ⇒・ゲームソフトに表示されている「〇歳以上」という区分（レーティング）を活用しましょう。
- ・子どもの機器にはフィルタリングを設定しましょう。
- ### **□家族みんなで上手なネットやゲームとの付き合い方を考えていますか？**
- ⇒・親がメディアとの付き合い方の手本になりましょう。
- ・危険性やルールについて、家族で話し合いましょう。

茨城県教育委員会「子育てアドバイスブック クローバー」p18 より
内閣府他「スマホ時代の子育て 幼児・児童編」より

家庭教育を支援する、茨城県の取り組みをご紹介します



【家庭教育応援ナビ】



【公式ツイッター】

